

Program

オープニング 春の声 / J. シュトラウス (高嶋)

1. アレルヤ / W.A. モーツァルト (植田)
モテット「Exsultate, iubilate (踊れ、喜べ、幸いな魂よ) K.158a」より

2. オンブラ マイ フ / F. ヘンデル (高嶋)
オペラ「セルセ」より
こんな木陰は 今まで決してなかった 緑の木陰
親しく、そして愛らしい、よりやさしい木陰は

3. 宵待草 / 多 忠亮 (高嶋)
大正浪漫を代表する画家・詩人の竹久 夢二による詩歌を原詩とする抒情歌。

4. 恋とはどんなものかしら / W.A. モーツァルト (植田)
オペラ「フィガロの結婚」より
小姓のケルビーノは伯爵夫人への想いを綴った詩を、
小間使いのスザンナの伴奏に合わせ、歌うアリア。

5. ある晴れた日に / G. プッチーニ (喜多)
オペラ「蝶々夫人」より
蝶々夫人が、3年間待ちわびているピンカートンとの再会を切望し、歌うアリア。

6. 誰も寝てはならぬ / G. プッチーニ (中川)
オペラ「トゥーランドット」より
トゥーランドット姫に対して、謎掛けを出したカラフが、
誰も解くことができないであろうと、自身の勝利を確信し、歌うアリア。

7. 私の大好きなお父さん / G. プッチーニ (喜多)
オペラ「ジャンニ・スキッキ」より
父親に結婚の許しを請う、ラウレッタのアリア。
私はあの人と結婚したいのです。
許してくれなければ、ポンテベッキオ橋から飛び降ります！

カンツォーネコーナー (中川)
勿忘草 カタリ・カタリ オーソーレミーオ等

エンディング きらびやかに着飾って / L. バーンスタイン (高嶋)
「キャンディード」より
国が滅び、パリで高級娼婦となったクネゴンデは週の半分をユダヤ人の富豪の、
週の半分は大司祭の女となっていて、その運命を嘆くのだが、
高価なドレスや宝石を前に笑いが止まらなくなる。